日本遺産

絶景の宝庫 和歌の浦

～詠い継がれる、美しき風景～

和歌山

詳細はWEBでチェック!

日本遺産
「絶景の宝庫 和歌の浦」
公式サイト

万葉の時代から、風光明媚な景勝地として愛されてきた和歌の浦。数多の時代を経て今に至るまで、その絶景は人々に感動を与え、数えきれない物語を育んできた。そんな歴史を身近に触れる旅へと出かけよう。公式サイトでは日本遺産のストーリーを構成する和歌の浦ゆかりのさまざまな文化財を案内。美しい日本の心を訪ねに行こう。

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」
公式サイト
https://wakanoura-nihonisan.jp/

日本遺産「絶景の宝庫 和歌の浦」
公式インスタグラム
https://www.instagram.com/totteoki_wakanoura/

日本遺産
絶景の宝庫
和歌の浦

日本遺産

発　　行●和歌の浦日本遺産活用推進協議会
（和歌山県海草振興局地域づくり課内）
問　合　せ●☎073-441-3372
観光の問合せ●（一社）和歌山市観光協会 ☎073-433-8118
●（一社）海南市観光協会 ☎073-484-3233
語り部の問合せ●和歌山市語り部クラブ ☎073-433-5831
（観光交流センター内）
●海南市語り部の会 ☎073-483-8461（海南市産業振興課内）

本冊子のデータについて
データは令和８年８月現在のもので、時期により変更になる場合もございます。
ご利用の際は、事前に各施設等にご確認ください。

【表紙写真】蓬莱岩「朝陽輝く」


4


7


6

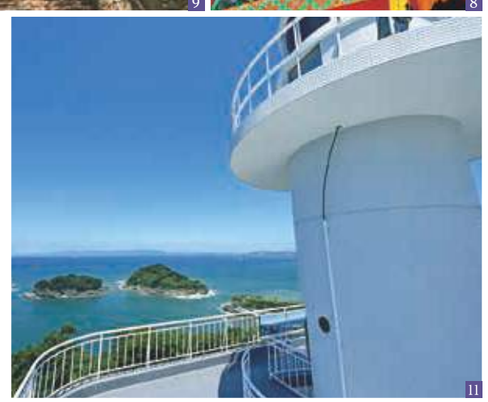

5


10


9


8

4夕暮れの妹背山と観海閣　5白亜に輝く天守閣がそびえる和歌山城　6和歌の浦の山並みを借景にした養翠園　7歌川広重の作品『六十余州名所図会』にも和歌の浦が描かれている　8極彩色の装飾が桃山時代の遺風を伝える紀州東照宮の社殿　9長保寺大門は国宝指定　10干潟には鳥が集い、山部赤人が歌に詠んだ光景を彷彿とさせる　11雑賀埼灯台の展望台から、双子島など島々が浮かぶ和歌の浦の雄大な海景色を一望に


11

CONTENTS

- 日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦 ストーリー紹介…P4
- 和歌に詠われた絶景を愛でる…P6
- 紀州藩主を魅了した絶景…P8
- 1泊2日 満喫プラン…P10
- 絶景を望むお宿…P12
- 周辺のおすすめグルメスポット…P13
- 関連地域マップ・おすすめみやげ…P14
- 和歌の浦へのアクセス・地域振興の取組み…P15

日本遺産 絶景の宝庫

和歌の浦

万葉のころより、美しい景勝で名高く、
その情景を歌に詠われ、
和歌の聖地となった和歌の浦。
潮の干満により刻一刻と表情を変える姿は、
ときを忘れて見とれるほどの絶景です。

名草山からのご来光を望む和歌の浦の夜明け。心に沁みる美しさだ


3


2


1

1妹背山に建つ観海閣は紀三井寺を遥拝する水上楼閣として徳川頼宣が建立
2急峻な地形にびっしりと張り付くように建物が並ぶ雑賀崎（さいかざき）の独特な風景
3雑賀崎から番所庭園を望む。青く澄んだ海に、鋭い岩肌と芝生の緑が美しく映える

和歌の浦は和歌山市街の南方、和歌川河口の干潟を中心に雑賀崎や熊野参詣道紀伊路・藤白坂まで広がる歴史深く風光明媚な地。万葉の歌人・山部赤人や柿本人麻呂をはじめ、文人墨客に愛され詠われた景勝の地です。心を打つ叙情的な風景はいつの時代も人々を魅了し、多様な芸術を育んできました。

玉津島山と呼ばれた6つの岩山付近の風景は特に風情が豊か。聖武天皇が雄大な景色を愛でたという奠供（てんぐ）山のふもとには和歌の神を祀る玉津島神社が鎮座します。海に浮かぶ妹背山には多宝塔、観海閣が建ち、水面にアーチ形の美しい姿を映す不老橋、権現山の中腹に華麗な社殿がそびえる紀州東照宮など、紀州徳川家由縁の建造物も点在しています。

そんな和歌の浦の有形無形の文化財群を語るストーリー「絶景の宝庫　和歌の浦」が、2017年4月、文化庁の日本遺産に認定されました。景勝だけでなく和歌の浦の伝統文化や遺産のすばらしさを、改めて私たちに伝えてくれます。日常を解き放つ、情緒あふれる感動を求めに、和歌の浦を訪れてみませんか。

日本遺産とは…

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する制度。2015年に創設され、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用し、地域活性化を図ることを目的としている。これまでに「絶景の宝庫和歌の浦」を含む104件が認定されている（2026年8月末日現在）

JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦 ストーリー紹介

和歌に詠い継がれた、美しい情景の地

芸術と文化を育んだ絶景

潮の干満によって干潟が現れては消え、刻一刻と変化しながら、四季折々の多彩な風景を魅せる和歌の浦。万葉歌に詠われ、芸術や文化を育んだ歴史ある風景は、今もなお人々を魅了し続けている。

和歌の聖地の誕生

和歌の浦は、和歌山市南部と海南市北部に位置する和歌浦湾をとり巻く景勝地。和歌川の河口に広がる干潟を中心に、南は熊野参詣道・藤白坂から西は紀伊水道に面した雑賀崎まで、緑豊かな山並みと大海原に抱かれた絶景の宝庫だ。

今から1300年前の奈良時代、「若の浦」と呼ばれていたこの地を訪れた聖武天皇が、玉のように美しく島々が連なる眺望に感動して詔(みことのり)を発し、玉津島の神と明光浦(あかのうら)の霊(みたま)を祀り、この風景を末永く守るように命じた。行幸に従った万葉歌人の山部赤人が、和歌の浦の情景を讃え詠んだ躍動感にあふれる歌は、今も広く知られている。

天下人や藩主も惚れ込んだ絶景

紀州攻めを行った羽柴(豊臣)秀吉は和歌の浦を遊覧ののち、その北方の岡山に「和歌山城」を築かせた。この和歌の浦にちなんだ名が現在の県名の由来となる。

徳川幕府の治世となり、家康の十男である頼宣(よりのぶ)が、紀州五十五万五千石の初代藩主として和歌山城に入る。頼宣は、和歌の浦の北西にそびえる山の中腹に父・家康を祀る紀州東照宮を創建。干潟に浮かぶ妹背山には母・養珠院(お万の方)を偲ぶ多宝塔を建てた。さらに妹背山に三断橋を架けて観海閣を設け、風景を楽しむ場として民衆に開放した。

近代の和歌の浦には夏目漱石など文人墨客も来遊している。琴の浦には温山荘園が築かれ、皇族や大臣も訪れた。

そして現代、400年以上の歴史を伝える和歌祭の絢爛豪華な行列が、和歌の浦の水辺を彩りながら進む。そこには祭りに参列する若者や子どもたちの姿がある。環境保全や万葉歌の勉強会などの活動も地元で進められ、時代を越えて人々を魅了し続けるすばらしき遺産を次世代へ伝える取組みが行われている。

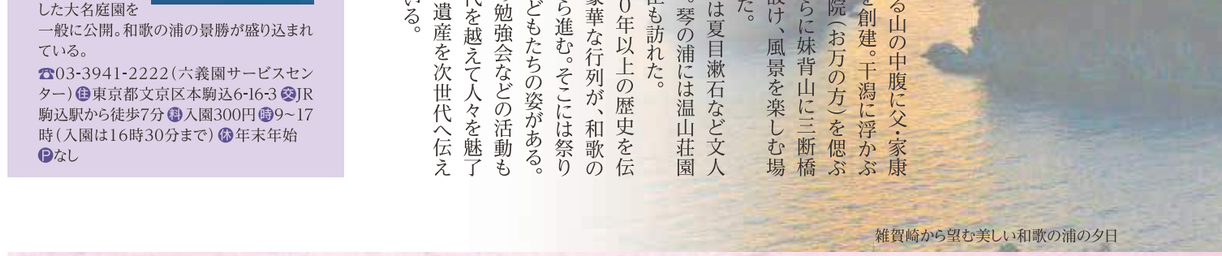
江戸にも残る和歌の浦

六義園
●りくぎえん



五代将軍・徳川綱吉の側用人、柳澤吉保が下屋敷として造営した大名庭園を一般に公開。和歌の浦の景勝が盛り込まれている。

☎03-3941-2222(六義園サービスセンター) 住東京都文京区本駒込6-16-3 交JR駒込駅から徒歩7分 料入園300円 時9~17時(入園は16時30分まで) 休年末年始 Pなし



雑賀崎から望む美しい和歌の浦の夕日

和歌の浦のおもなできごと

658年(斉明4)	有間皇子、藤白坂で処刑
724年(神亀元年)	聖武天皇、紀伊国玉津島に行幸。山部赤人「若の浦」の歌を詠む
770年(宝亀元年)	紀三井寺開創
804年(延暦23)	桓武天皇、紀伊国玉津島に行幸
1048年(永承3)	関白藤原頼通、和歌の浦・吹上浜を遊覧
1585年(天正13)	羽柴(豊臣)秀吉紀州進攻、平定。岡山に城を築き和歌山城と称す
1606年(慶長11)	浅野幸長、和歌浦天満宮の社殿・唐門などを造営。玉津島神社再興
1619年(元和5)	徳川頼宣が和歌山に入国
1621年(元和7)	紀州東照宮落成、正遷宮。和歌浦天満宮が改修され地主神とされる
1651年(慶安4)	三断橋架設、観海閣建立、妹背山に寺庵(のち海禅院)を置く
1660年(万治3)	玉津島神社に頼宣が三十六歌仙額を寄進
1688年(元禄元年)	松尾芭蕉、高野山から和歌の浦を巡遊
1782年(明和9)	桑山玉洲「若浦図巻」成る
1818年(文政元年)	徳川治宝、水軒御用邸(養翠園)の造営着手、文政8年完成
1851年(嘉永4)	不老橋架橋
1911年(明治44)	夏目漱石、和歌の浦来遊
1922年(大正11)	東宮(昭和天皇)和歌の浦に遊覧
1991年(平成3)	あしべ橋開通
2010年(平成22)	国指定記念物(名勝)となる
2017年(平成29)	4月、「絶景の宝庫 和歌の浦」日本遺産認定



雑賀崎の町並み
●さいかざきのまちなみ

万葉歌に「雑賀浦」の「海人の燈火」と詠われた雑賀崎の地にある漁師町。断崖に家々が密集して並ぶ風景は、まるでイタリアのアマルフィ海岸のようだとも称されている。

住和歌山市雑賀崎 交バス停雑賀崎から徒歩9分 料時休周辺自由 P周辺利用 【MAP】P14A1



和歌の浦(片男波)
●わかのうら(かたおなみ)

干潟と外海を隔てる砂嘴を片男波公園として整備。高津子山山上の展望台から、干潟と片男波の風景を一望できる。

高津子山展望台 住和歌山市新和歌浦 交バス停新和歌遊園から徒歩20分 料時休周辺自由 Pなし 【MAP】P14B1



和歌の浦(干潟)
●わかのうら(ひがた)

和歌川の河口に広がる自然豊かな干潟。万葉歌に詠われ、干潟の葦辺へ鶴が舞い飛ぶ様子は和歌浦十景に選ばれている。

住和歌山市和歌浦中 交バス停玉津島神社前からすぐ 料時休見学自由 Pなし 【MAP】P14B1



和歌の浦を歌に詠んだ歌人たち

山部赤人
●やまべのあかひと

若の浦に潮満ち来れば潟をなみ 葦辺をさして鶴鳴き渡る
(万葉集巻6 九一九)

聖武天皇の紀伊行幸に随行した宮廷歌人。和歌の浦を讃える美しい歌を詠んだ。724~736年ごろ活躍。

柿本人麻呂
●かきのもとのひとまろ

玉津島磯の浦廻の真砂にもにほひて行かな妹も触れけむ
(万葉集巻9 一七九九)

万葉を代表する歌人。晩年に訪れた和歌の浦で、亡き妻の哀しい思い出を歌に詠んだ。672~710年ごろ活躍。

藤原卿
●ふじわらきょう

玉津島見れども飽かず いかにして包み持ち行かむ見ぬ人のため
(万葉集巻7 一二二二)

聖武天皇の紀伊行幸に随行し万葉集に7首の歌を残した。藤原不比等の子・房前か麿呂ではないかといわれる。

日本遺産の構成文化財(一部抜粋)

琴ノ浦温山荘園
●ことのうらおんざんそうえん



世界有数のベルトメーカーの創業者・新田長次郎が造園した庭園を公開。主屋などの建物は重文指定。

☎073-482-0201 住海南市船尾370 交バス停琴の浦からすぐ 料入園400円、主屋・浜座敷の内見100円。時9時~16時30分受付。但し、内見は16時まで 休月曜(祝日の場合は翌日)、12月~2月(要確認) P70台(有料) 【MAP】P14C3

三断橋
●さんだんきょう



紀州初代藩主・徳川頼宣が建設した、妹背山に続く県内最古の石橋。中国の景勝地である西湖堤を模している。

住和歌山市和歌浦中 交バス停玉津島神社前からすぐ 料時休周辺自由 Pなし 【MAP】P14B1

鹽竈神社
●しおがまじんじゃ



鏡山の南面にある洞窟で、輿の窟(こしのいわや)と呼ばれた。祠と小さな拝殿があり、安産守護や子授けの神として信仰されている。

☎073-444-0472(玉津島神社) 住和歌山市和歌浦中3-4-29 交バス停不老橋からすぐ 料時休境内自由 P玉津島神社30台利用 【MAP】P14B1

妹背山・海禅院多宝塔
●いもせやま・かいぜんいんたほうとう



初代藩主・頼宣の母である養珠院が夫・家康の33回忌に経石を埋納した地。頼宣がその上に多宝塔を建てて菩提を弔った。

住和歌山市和歌浦中 交バス停玉津島神社前からすぐ 料時休周辺自由 Pなし 【MAP】P14B1

熊野参詣道紀伊路(藤代塔下王子跡)・地蔵峰寺
●くまのさんけいみちきいじ(ふじしろとうげおうじあと)・じぞうぶじ

熊野古道九十九王子のひとつ・藤代塔下王子跡に立つ寺。裏手の御所の芝は和歌の浦を望む名所として絶賛された。

住海南市下津町橋本1612 交JR海南駅から徒歩1時間50分 料時休周辺自由 P周辺利用 【MAP】P14C4

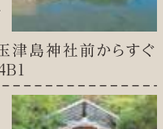
水軒堤防
●すいけんていぼう



江戸時代後期に築かれた堤防跡で、水軒の砂丘の名残を残す。石堤の一部が水軒公園に移築保存されている。

水軒公園 住和歌山市西浜 交バス停養翠園前から徒歩10分 料時休入園自由 Pなし 【MAP】P14A1

明光通りの町並み
●めいこうどおりのまちなみ



聖武天皇が行幸の際にこの地を明光浦とよんだ故事にちなむ。江戸時代は紀州東照宮・和歌浦天満宮参道前に廻船問屋が並んだ。

住和歌山市和歌浦中 交バス停権現前からすぐ 料時休周辺自由 Pなし 【MAP】P14B1

玉津島神社奉納和歌
●たまつしまじんじゃほうのうわか

『古今伝授御法楽五十首和歌』など、玉津島神社には天皇や公家達が和歌上達を祈願した奉納が数多く残る。

【DATA】和歌山市立博物館所蔵 ☎073-423-0003

南紀男山焼
●なんきおとこやまやき

江戸期に奨励された焼き物で、十代藩主・治宝の時代に発展。和歌の浦の風景を描いた器が多数作られている。

【DATA】和歌山市立博物館所蔵 ☎073-423-0003

紀伊国名所図会板木
●きいのくにめいしょずえはんぎ

紀伊国の名所を紹介した地誌の板木。文化8年(1811)から和歌山城下で刊行され、和歌浦の紹介も多い。

【DATA】和歌山市立博物館寄託 ☎073-423-0003

和歌に詠われた絶景を愛でる

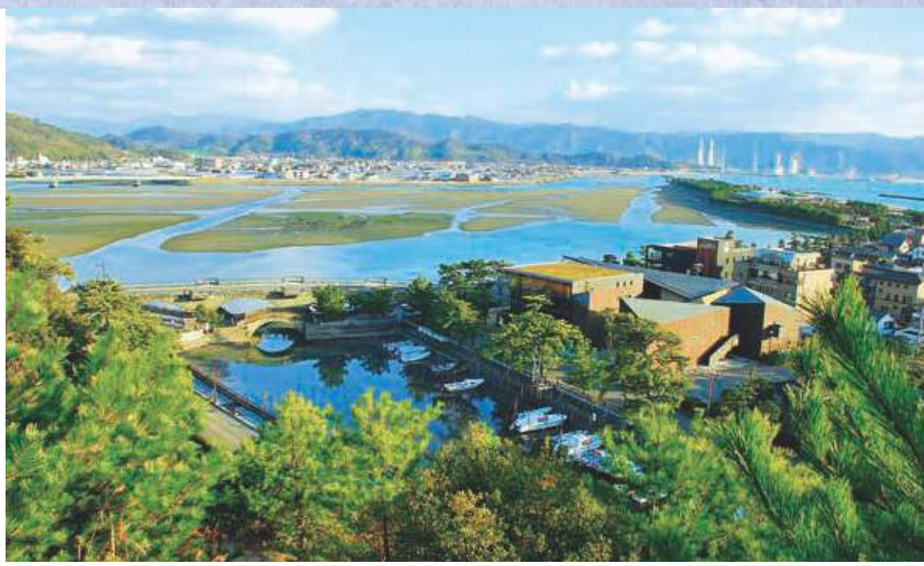
絶景の宝庫、和歌の浦には、万葉の歌人たちが詠い、江戸時代の画家が描いた感動を、今も感じることができる情趣豊かな風景が広がっている。

和歌の浦（干潟・片男波）

●わかのうら（ひがた・かたおなみ）

片男波の名は山部赤人の歌にある「潟をなみ（かたをなみ）」が由来とも。奠供（てんぐ）山に登れば、干潟と砂嘴（片男波）の雄大な風景を望むことができる。

奠供山（玉津島神社境内）住和歌山市和歌浦中3-4-26 交バス停不老橋からすぐ 料時休見学自由 P玉津島神社30台利用 【MAP】P14B1



干潟に潮が満ちた様子。松並木が美しい片男波の砂嘴が対岸へと延びる

石造の不老橋の向こうに見えるのが和歌の浦の干潟。潮が引くと徐々に姿を現す

古く和歌に名を残す絶景の地

神亀元年（724）、聖武天皇の行幸に従った宮廷歌人の山部赤人は、和歌の浦と玉津島の神々しい美しさを讃え、潮の満ち引きに躍動する大自然の風景をダイナミックに歌に詠み込んだ。

「若の浦に　潮満ち来れば　潟をなみ　葦辺をさして　鶴（たづ）鳴き渡る」山部赤人（万葉集巻6 九一九）

（意訳）和歌の浦に潮が満ちると、干潟が無くなるので、葦辺を目指して、鶴が鳴きながら飛んでゆくよ

以降、和歌の浦は聖地となる。玉津島神社には和歌の神が祀られて、歌人の憧れの地となり、多くの和歌に詠われるようになる。

江戸時代の絵師・桑山玉洲は、万葉集や新古今和歌集に詠われた情景を実際の風景に融合させ、その風雅な様子をみごとに表現した。その景色は『和歌浦十景』とよばれ、山部赤人の歌にある、和歌浦の干潟の葦辺に鶴が鳴き渡る様子は「蘆州鳴鶴（ろしゅうのめいかく）」、紀三井寺の伽藍を抱く名草山が、干潟の満潮時に夕日に映える様子は「名草晩潮（なぐさばんちょう）」、和歌浦天満宮を祀る天神山から干潟を見下ろし、松林の間に釣り船が見え隠れする様子を「松間釣舟（しょうかんちょうしゅう）」。有間皇子が悲劇の最期を遂げた藤白坂の、紅葉の峠越しに見る和歌の浦の眺めは「藤白落葉（ふじしらのらくよう）」として絵になる景色を教えてくれる。

和歌の浦周遊の拠点

和歌の浦あしべ庵

●わかのうらあしべあん

当施設は歴史文化の情報発信、観光案内、体験交流、休憩滞在の機能を備えた和歌の浦周遊の拠点です。どなたでも気軽にご利用いただけます。

☎073-435-1048住和歌山市和歌浦中3丁目4番26号 交バス停不老橋からすぐ 料入場無料 時10時～16時 休月曜、12月29日～31日（1月1日～3日は開場、休場日が祝日または1月2日・3日の場合は翌平日休場）P10台無料（うち1台は思いやり駐車場）、大型バス2台 【MAP】P14B3







柿本人麻呂（右）、山部赤人らの肖像が歌とともに描かれた『三十六歌仙額』。実物は和歌山市立博物館に寄託されている

玉津島神社

●たまつしまじんじゃ

天照大御神の妹神にあたる稚日女尊（わかひるめのみこと）や和歌の神である衣通姫尊（そとおりひめのみこと）を祀る。和歌の名人36人の肖像を描いた『三十六歌仙額』を初代藩主・頼宣が奉納した。拝殿に複製画が展示されている。☎073-444-0472住和歌山市和歌浦中3-4-26 交バス停不老橋からすぐ 料時休境内自由 P30台 【MAP】P14B1



社殿背後の奠供山山上から聖武天皇が和歌の浦の風景を愛でたと伝えられる

和歌浦十景関係資料（明光浦十景図）

●わかのうらじっけいかんけいしりょう（めいこううらじっけいず）

和歌浦（明光浦）周辺の名所十景が描かれた図会。江戸時代の和歌の浦出身の絵師・桑山玉洲が描いた絵図は、和歌に詠われた情景を実際の風景で表現したもので、多くの絵画や美術工芸品のモチーフとなった。岡本緑郵は、独自にアレンジを加えた名所十景を描いている。

【DATA】和歌山市立博物館所蔵 ☎073-423-0003



岡本緑郵筆による『明光浦十景図』。江戸時代後期～明治時代初期の作品で、写真左より『松間釣舟』、『藤白落葉』、『蘆州鳴鶴』、『名草晩潮』

和歌浦天満宮

●わかうらてんまんぐう

社伝によると、大宰府に向かう途中、和歌の浦に立ち寄ったとされる菅原道真を祀る神社。本殿や楼門は後に江戸幕府御大工棟梁となった平内正信によるもの。

☎073-444-4769住和歌山市和歌浦西2-1-24 交バス停権現前から徒歩5分 料時休境内自由 P10台 【MAP】P14B1



天神山の中腹にそびえたつ楼門。石段を上れば和歌浦湾を一望することができる

紀三井寺（護国院）

●きみいでら（ごこくいん）

西国三十三所観音霊場第二番札所。和歌川干潟の東にそびえる名草山の中腹にあり、境内から和歌の浦を望める名所として知られ、多くの参詣者が訪れる。

☎073-444-1002住和歌山市紀三井寺1201 交JR紀三井寺駅から徒歩10分 料［ケーブル料金］400円（往復）時8～17時 休無休 P35台 【MAP】P14C3

231段の石段を上ると和歌浦湾が一望に。春は早咲きの桜の名所としても知られる



熊野参詣道紀伊路（藤白坂）

●くまのさんけいみちきいじ（ふじしろさか）

藤白神社から藤代塔下王子跡へ向かう熊野詣での参詣道。斉明4年（658）に有間皇子が謀反の疑いで捕らえられ、この地で絞殺されたと伝わる。沿道には丁石地蔵が置かれている。

有間皇子の墓 住海南市藤白 交JR海南駅から徒歩20～30分 料時休周辺自由 Pなし 【MAP】P14C4



1丁（約109m）ごとに17体の地蔵が祀られ、藤白坂を往来する人々を見守っている

鈴木屋敷

●すずきやしき

全国の鈴木姓のルーツが、ここ鈴木屋敷と言われている。藤白の鈴木氏は平安時代に、熊野から藤白の地に移り住み、ここを拠点として、全国に熊野信仰を広めた。

☎073-482-1123住海南市藤白448（藤白神社境内）料500円 時10時～16時 休月曜と火曜（休日の場合は除く）、年末年始 P30台 【MAP】P14C3



藤白神社

●ふじしろじんじゃ

熊野参詣に訪れた上皇や貴族が歌会や神楽を奉納した藤白王子跡に立つ神社。当時に奉納された神楽に起源をもつという優美な獅子舞が今も伝えられている

☎073-482-1123住海南市藤白448 交JR海南駅から徒歩16分 料時休境内自由 P30台 【MAP】P14C3





（上）格式の高い五躰王子のひとつとして崇敬されている（下）猿田彦命と獅子がのどかに舞う藤白の奉納獅子舞

さらに深く万葉の世を知る

万葉館

●まんようかん

片男波公園に立つ施設で、和歌の浦をはじめ、和歌山で詠まれた100余首の万葉歌を資料や映像シアターなどでわかりやすく紹介する。

☎073-446-5553住和歌山市和歌浦南3-1700-2 交バス停不老橋から徒歩10分 料入館無料 時9時～16時30分入館 休月曜（休日の際は翌平日）、年末年始 P200台（有料）【MAP】P14B1



館内には聖武天皇の「天平文化の時代」を紹介する展示コーナーもある

和歌の浦で活動する団体紹介

紀伊万葉ネットワーク

●きいまんようねっとわーく

万葉の故地を散策するウォークなど、1300年前の人々が和歌山を詠った紀伊万葉のすばらしさを学び、次世代に伝える活動を行っています。



紀伊万葉ネットワーク会長 村瀬憲夫さん（近畿大学名誉教授）



万葉衣装を着る散策イベントも開催

紀州藩主を魅了した絶景

紀州藩主である紀州徳川家にとっても重要な場所であった和歌の浦。東照宮が置かれ、不老橋が整備され、景勝を活かした名庭園も造られ大いに発展した。

和歌の浦に東照宮を建立

江戸時代に入り、将軍家に次ぐ高い家格を与えられた徳川御三家のひとつである紀州徳川家が紀州藩主となる。和歌の浦の絶景は、歴代藩主をも魅了した。

元和5年（1619）に徳川家康の十男である頼宣が、初代藩主として和歌山城に入城する。元和7年（1621）には和歌の浦の権現山に父・家康を祀る紀州東照宮を創建。その翌年から頼宣が始めた例大祭が和歌祭。不老橋は和歌祭の御成道として江戸時代後期に建造されたものだ。現在も祭りは継承され、108段の急峻な参道の石段を神輿が勇壮に下り、戦国時代の名残を残す多彩な演舞を披露。総勢1000人もの行列が町を練り歩く様子は時代絵巻さながらだ。当時の様子は和歌浦図として屏風絵や絵巻物に描かれ、昔日の面影を今も偲ぶことができる。

風景を愛でる庭園や茶室も

紀州藩主随一の文化人であった十代藩主・治宝（はるとみ）は、高津子山の山並みを借景に、和歌の浦の景勝を活かし、海水をとり込む汐入式の大名庭園である養翠園を造園。園内に茶室を設け、和歌の浦をかたどった菓子や茶器も作らせたほど、この地を深く愛した。



和歌祭保存会 実行委員会

●わかまつりほぞんかい じっこういいんかい

400年以上の歴史をもつ和歌祭を、誇りを持って受け継ぎ、多くの方のご協力をいただきながら、次世代に伝える活動にも取り組んでいます。



和歌祭実行委員会 実行委員長中山勝誠さん

和歌祭

【開催】5月第2週または第3週日曜
【おもな種目】神輿おろし11時～、神輿・渡御行列12時～
【問合せ】紀州東照宮
☎073-444-0808



（左）名所を表した落雁を作るための木型。「和歌の浦」は3枚組の大作（右）「名草山晩鐘」

駿河屋菓子木型

●するがやかしきがた

駿河屋は室町時代から続く菓子司。紀州徳川家初代・頼宣とともに紀州に移りご用達となった。十代・治宝が和歌の浦の名所を表した菓子を作らせた。

【DATA】和歌山市立博物館所蔵 ☎073-423-0003



紀州東照宮

●きしゅうとうしょうぐう

紀州徳川家初代藩主・頼宣公が父・家康公の霊を祀るために造営。華麗な社殿がそびえ立ち「関西の日光」とも呼ばれる。毎年5月に斎行される例大祭の渡御行列が和歌祭。

☎073-444-0808 住和歌山市和歌浦西2-1-20 交バス停権現前からすぐ 料無休拝観料300円 P70台（有料）【MAP】P14B1



重量1t以上もある神輿が参道を下る

絢爛豪華な彫刻や彩色が施された東照宮の楼門

和歌山城

●わかやまじょう

豊臣秀吉が弟の秀長に築かせた城で、江戸時代は紀州徳川家の居城であった。虎伏山の山上にそびえ立つ天守閣から和歌山市街を見渡すことができる。

☎073-422-8979（和歌山城天守閣）住和歌山市一番丁3 交バス停和歌山城前からすぐ 料天守閣入場大人410円、小・中学生200円、御橋廊下入場無料 時9～17時受付 休見学自由（施設により異なる）P58台（有料）【MAP】P14B2

お堀に架かる御橋廊下と天守閣を望む撮影スポットは和歌山市役所前周辺に



不老橋

●ふろうばし

徳川家や東照宮の関係者が祭礼の際に通る「御成道」に架けられた

嘉永4年（1851）に、十代藩主・治宝の命令により和歌祭の御成道として建造されたアーチ型の石橋。勾欄部分には、雲を文様化した美しい彫刻がみられる。

住和歌山市和歌浦南 交バス停不老橋からすぐ 料無休見学自由 Pなし【MAP】P14B1



養翠園

●ようすいえん

治宝が茶を楽しんだ大名庭園。御茶屋「養翠亭」が池の畔にたたずむ

高津子山などの山並みを背景にした雄大な庭園で、紀州徳川家十代藩主・治宝が造営。大名庭園としては大変珍しい、海水をとり入れた汐入式の池を配している。

☎073-444-1430 住和歌山市西浜1164 交バス停養翠園から徒歩7分 料入園600円 時9～17時 休無休 P40台【MAP】P14A1



和歌浦図関係資料

●わかうらずかんけいしりょう

和歌の浦は日本三景と並ぶ名所として、さまざまな形で名所図屏風に描かれた。近世には東照宮が主体に描かれることが多くなる。

『和歌浦図屏風』和歌山県立博物館所蔵
☎073-436-8670

（写真）『和歌浦・厳島図屏風のうち和歌浦図』江戸時代前期の作品で、濃いめの彩色で緻密に描写されており、たなびく金雲の大部分は金箔を貼ったもの。6曲1隻、紙本著色

長保寺

●ちょうほうじ

（右）国宝の本堂と多宝塔、大門は鎌倉～南北朝時代の建立（上）荘厳な森に包まれた紀州初代藩主・頼宣の墓所

一条天皇の勅願により創建された寺院で、本堂と多宝塔、大門は国宝指定。紀州徳川家の菩提寺であり、境内の奥に壮大な森に抱かれた歴代藩主の廟所が広がる。

☎073-492-1030 住海南市下津町上689 交JR下津駅から車で10分 料拝観500円 時9～16時 休無休 P15台【MAP】P14B4
※災害のため拝観停止中。令和10年春再開予定。





ゆったり楽しむ周遊案内

和歌の浦をめぐる 1泊2日 満喫プラン

日本遺産に認定された和歌の浦の絶景を楽しむなら、ゆったりとした1泊2日の旅を。魅力を堪能できるモデルプランをご紹介します。

おすすめ満喫プランチャート

● 1日目

JR和歌山駅
↓ 和歌山バス新和歌浦行きで約20分、不老橋下車
和歌の浦（不老橋・妹背山・干潟・玉津島神社など）
↓ 徒歩5～15分
おっとっと広場/wakaya津屋（ランチ）
↓ 徒歩16分/徒歩すぐ
和歌の浦遊覧船（予約制）
↓ 徒歩9分
紀州東照宮・和歌浦天満宮
↓ 徒歩5分
80ESPRESSO WAKAURABASE/純喫茶リエール（カフェ）
↓ 徒歩5分のバス停権現前から和歌山バス市内雑賀崎循環線で約15分、雑賀崎遊園下車、徒歩12分
雑賀埼灯台・番所庭園
↓ 徒歩あるいは和歌山バスなどで宿へ
和歌の浦の宿に宿泊（→P12）

● 2日目

和歌の浦の宿
↓ バス停雑賀崎遊園から和歌山バス雑賀崎線で11分、水軒口乗換え、海南駅前行きで8分、紀三井寺下車、徒歩5分
紀三井寺（護国院）
↓ 徒歩5分のバス停紀三井寺から和歌山バス海南駅前行きで6分、琴の浦下車
琴ノ浦温山荘園
↓ バス停琴の浦から和歌山バス海南駅前行きで1分、黒江下車
みちくさ（ランチ）
↓ 徒歩5分
黒江の町並み
↓ 徒歩5分のバス停黒江から海南駅前行きで6分、終点下車
JR海南駅

立寄りグルメスポット

wakaya津屋
たべる ● わかやつや

旧和歌川漁協の建物をリノベーションした食堂で地元産の食材を味わえる。かまど炊きごはんや特産の灰干し製法の干物が自慢。
☎073-444-0525 住和歌山市和歌浦東2-6-2 交バス停和歌浦からすぐ 時11～14時オーダーストップ、テイクアウト:10時30分～19時 休無休 P17台【MAP】P14B1


灰干しさば定食1200円

みちくさ
たべる ● みちくさ

海南の地元で水揚げされた豊富で新鮮な魚料理を食べさせてくれる食事処。人気の海鮮定食は煮付けと刺身が付いてボリューム満点。
☎073-482-5040 住海南市船尾201-23 交バス停黒江から徒歩4分 時11～22時 オーダーストップ（予約制） 休無休 P9台【MAP】P14C3


海鮮定食3300円。プラス600円で名物のじゃこめしに変更可能

純喫茶リエール
カフェ ● じゅんきっさりえーる

旧紀州藩士で農林大臣を務めた岡崎邦輔の別荘・雲山萬化荘がカフェに。築130年の和風建築の建物でワッフルメニューを味わえる。
☎073-499-8698 住和歌山市和歌浦中3-5-5 交バス停不老橋からすぐ 時10～16時（ランチ14時まで）（ラストオーダー15時30分） 休火曜 P20台【MAP】P14B1


ワッフルメニュー全９種類 1140円～

山門をくぐり231段の石段を上っていこう

2日目




仏殿から和歌浦湾と片男波の絶景を望む

紀三井寺（護国院）
● きみいでら（ごこくいん）

名草山の中腹にあり、山内に湧く3つの霊泉から紀三井寺と名付けられたという古刹。西国三十三所観音霊場第二番札所として多くの参詣者が訪れる。
【DATA】→P7参照


池の水は潮の干満に応じて水位が上下する

琴ノ浦温山荘園
● ことのうらおんざんそうえん

実業家・新田長次郎の別荘を一般に公開。大正初期から造園された広大な潮入式池泉回遊庭園を散策できる。主屋など3棟の建造物は重文に指定。
【DATA】→P5参照

黒江の町並み
● くろえのまちなみ

かつて「黒牛潟」と万葉歌に詠われた入江で、近世には漆器職人の町として栄えた。通りに面して町家が斜めに立ち、ノコギリの歯のように並ぶ独特の景観が残る。
住海南市黒江 交バス停黒江から徒歩5分 料便休周辺自由 P周辺あり
【MAP】P14C3

道に向かって斜めに立ち並ぶ独特の家並みが続く



伝統工芸体験に挑戦！

紀州漆器伝統産業会館 うるわし館
● きしゅうしっきでんとうさんぎょうかいかん うるわしかん

紀州漆器や街の魅力を発信。即売コーナーの他、予約をすれば蒔絵体験もできる。（丸盆2000円等）
☎073-482-0322（紀州漆器協同組合）住海南市船尾222 交バス停黒江から徒歩5分 時10時～16時30分 休お盆、年末年始、水曜（祝日の場合は営業） P5台、大型バス2台【MAP】P14C3


出来上がった作品は当日持ち帰れる

続いて山々の中腹に並び建つ紀州東照宮と和歌浦天満宮へ。急峻な参道から振り返れば、熊野参詣道・藤白坂が通る長峰山脈と海の絶景が広がる。純喫茶リエールでワッフルを味わい休憩したら、バスで雑賀崎へ。番所庭園や雑賀埼灯台からの雄大な眺めは万葉歌にも詠われた絶景。夜は眺望を楽しめる宿に泊まって、疲れを癒したい。

観音霊場参詣と町歩きを楽しむ

2日目は名草山中腹にある紀三井寺へ。片男波の遠望を楽しみたい。さらに、バスで海南へ向かい、琴ノ浦温山荘園の潮風そよぐ庭園を歩いてみよう。みちくさでランチを味わったら、黒江の町並みを散策し、紀州漆器伝統産業会館うるわし館で蒔絵体験を。オンリーワンの作品を手みやげに、JR海南駅より帰路に就こう。

1日目



玉津島神社
● たまつしまじんじゃ

聖武天皇の行幸以来「和歌の聖地」として崇敬された玉津島神社。慶長年間（1606）領主浅野幸長が再興した本殿は、極彩色の彫刻や金色の扉、一対の守りうさぎが厳かにその歴史と風格を語りかける。
※参拝客への公開は行っていない。
【DATA】→P6参照


本殿を護る覆殿


和歌の浦と妹背山を紅く染める夕日


三断橋を渡って妹背山へ


玉津島神社にある山部赤人の万葉歌碑

和歌の浦（干潟・片男波）
● わかのうら（ひがた・かたおなみ）

和歌川河口に広がる海浜の景勝地。海に浮かぶ小島である妹背山（→P5）の周辺に、三断橋（→P5）、鹽竈神社（→P5）、玉津島神社（→P6）不老橋（→P9）などの名所が点在する。

紀州東照宮
● きしゅうとうしょうぐう

元和7年（1621）に紀州藩初代藩主・徳川頼宣公が、父の家康公を祀る社として創建。華麗な彫刻や壁画が施された本殿・拝殿の周囲を拝観できる（有料）。【DATA】→P9参照

東照大神・徳川家康公と南龍大神・徳川頼宣公を祀る



ひと足延ばして

おっとっと広場
● おっとっとひろば

わかしらす丼・海鮮丼・天丼・刺身定食・ラーメンなど
☎073-446-3308 住和歌山市新和歌浦1-1 交バス停新和歌浦から徒歩3分 時土日祝日の10～14時 P44台【HP】https://bayside-w.com
【MAP】P14A1





和歌浦天満宮
● わかうらてんまんぐう

慶長11年（1606）に領主・浅野幸長によって再建された壮麗な社殿が天神山の中腹に建ち並ぶ。楼門や本殿などが重文に指定。
【DATA】→P7参照

急峻な石段の参道の上に壮麗な社殿が立つ



万葉歌人も感動した絶景へ

旅の1日目はJR和歌山駅からバスに乗り、和歌山城を眺めながら南下して、和歌川河口に干潟が広がる和歌の浦へ。

バス停不老橋で降りると、目の前には名草山を背景にした干潟の風景が広がり、右には片男波の砂州が黒江に向かって延びている。まずは三断橋を渡り妹背山へ。山上の眺めを楽しんだら、鹽竈神社や玉津島神社を参拝しよう。ランチは魚の干物が人気のwakaya津屋で。土・日曜、祝日なら、おっとっと広場もおすすめ。その後、遊覧船に乗って海上から景色を楽しもう。

再び不老橋に戻ってくると干潟の風景が潮の干満により変化しているのに気が付くかもしれない。万葉の歌人たちが歌に詠んだ和歌の浦の情景に思いを馳せよう。

島々がシルエットに浮かぶ夕景の名所



雑賀埼灯台
● さいがさきとうだい

鷹の巣と呼ばれる雑賀崎の険しい崖の上に立つ灯台。展望施設があり双子島などの島々や遠く淡路島まで見渡せる。夕日の名所としても名高い。
住和歌山市雑賀崎809-2 交バス停雑賀崎遊園から徒歩15分 料便休見学自由 P22台（有料）【MAP】P14A1

番所庭園
● ばんどこていえん

紀州藩の遠見番所が置かれた場所。雑賀の浦を望む絶景地で、聖武天皇の行幸の際に藤原卿が詠んだとされる万葉歌の歌碑が立つ。
☎073-444-6533 住和歌山市雑賀崎番所ノ鼻 交バス停雑賀崎遊園から徒歩12分 料入園600円 時8時30分～17時30分（9～3月は8～17時）最終入園は、閉園30分前 休無休 P27台（有料）【MAP】P14A1

万葉歌碑は雑賀浦の絶景ポイント



和歌の浦遊覧船
● わかのうらゆうらんせん

和歌浦漁港から運航。「絶景の宝庫和歌の浦」を海上から体感できる。体験の予約・料金については要問合せ。※通年運航・予約制。船長と時間が合えば、いつでも出港可能!!
☎090-3165-3458 住和歌山市新和歌浦1-1 交バス停新和歌浦から徒歩2分【MAP】P14A1



和歌の浦周辺のおすすめグルメスポット

和歌濵かまぼこの看板商品。大板1本1404円
3~4種の魚のすり身をバランスよく配合



和歌濵かまぼこ

●わかはまかまぼこ

かつて蒲鉾店が軒を連ねていた通称「くずし通り」にオープン。こだわりの素材、45年培われた伝統製法による手作り蒲鉾はしっかりとした歯ざわりで弾むような極上の食感を味わえる。

☎073-445-1508 住和歌山市和歌浦南2-1-1 交バス停権現前から徒歩2分、バス停新和歌浦から徒歩2分 時9~17時 休水曜日(祝祭日含)【MAP】P14B2

(左)マグロ解体ショーも開催する黒潮市場で海産物をおみやげに (右)中世ヨーロッパの港街を再現したポルトヨーロッパ





和歌山マリーナシティ

●わかやままりーなしてぃ

和歌浦湾に浮かぶ人工島にテーマパークのポルトヨーロッパや黒潮市場、温泉、ホテルなど多彩な施設が揃う。

☎0570-064-358 住和歌山市毛見1527 交JR海南駅から和歌山バス和歌山マリーナシティ行きで15分、終点下車 休各施設により異なる Ⓟ3500台(有料)【MAP】P14B3
ポルトヨーロッパ 料入園無料(アトラクション等は別途要) 時10~17時(週末や季節により変動あり)
黒潮市場 ☎073-448-0008 料入場無料 時10~17時

ボリューム満点の特大エビフライセット2250円



喫茶オリノ

●きっさおりの

大浦街道沿いに立つ、天然エビを使った特大サイズのエビフライが大人気の店。平日のランチ(11~15時)はいつも満席だ。

☎073-444-6472 住和歌山市関戸5-7-15 交バス停大浦口からすぐ 時8~20時 休月曜(祝日の場合は営業) Ⓟ15台【MAP】P14A1

中華そば750円は屋台のころから変わらぬ昔ながらの味



マルキ中華そば

●まるきちゅうかそば

遠来の観光客も訪れる中華そばの専門店。醤油がふわりと香るスープとストレート細麺が絶妙にマッチ。サイドメニューのさば寿司130円もおすすめの味。

☎073-447-9557 住和歌山市和歌浦南1-1-3 交バス停権現前からすぐ 時17~23時 休月曜、第三火曜 Ⓟ9台【MAP】P14B1

旨味たっぷりの鯛に和歌山素材の小鉢が並ぶ
鯛しゃぶご膳4580円



わかうら食堂

●わかうらしょくどう

歴史ある老舗料亭旅館を全改築し食堂に。絶景の和歌浦湾を一望できる。名物鯛しゃぶご膳は鯛の甘味を味わえる軽めの湯通しで食べるのがおすすめ。

☎073-498-8311 住和歌山市新和歌浦4-16 交バス停新和歌浦から徒歩3分 時11~15時(土日祝のみ17~22時も) 休無休【MAP】P14B1

右から純米吟醸黒牛1930円、純米吟醸碧山黒牛1760円、純米大吟醸環山黒牛2860円(各720㎖)



名手酒造店

●なてしゅぞうてん

万葉歌にも詠われた黒牛潟にちなんだ銘酒「黒牛」の酒蔵。「万葉黒牛の水」水系の蔵内井戸水を使って仕込む酒は、米の旨味を引き出した深みのある味わい。敷地内には万葉歌碑も。

☎073-482-1115 住海南市黒江846 交バス停黒江から徒歩10分 時10~17時 休年末年始 Ⓟ20台【MAP】P14C3

シューパリ1個195円は地元でも大人気



春栄堂

●しゅんえいどう

明光通りにある和洋菓子店。アーモンドをまぶしてシュー皮を香ばしく焼き上げたシューパリが看板商品。生クリームを使った特製カスタードクリームがたっぷり詰まっている。

☎073-444-0571 住和歌山市和歌浦中1-5-13 交バス停権現前からすぐ 時8~17時30分 休水・日曜 Ⓟ4台【MAP】P14B1

メイン料理を8種類から選べる
『スタッフの気まま定食』1250円(税込)



黒江ぬりもの館

●くろえぬりものかん

築180年の塗師町屋を改装したカフェ。連子格子や漆桶など昔の面影を残す空間で、地産地消にこだわったランチやスイーツを、漆器のまち黒江ならではの塗りの器で楽しめる。

☎073-482-5321 住海南市黒江680 交バス停黒江から徒歩7分 時11~17時 休火・水曜(祝日の場合は営業) Ⓟ3台【MAP】P14C3



絶景を望むお宿

「絶景の宝庫 和歌の浦」を訪れるなら、ぜひ泊まってみたい宿をご紹介。和歌の浦の豊富な海の幸や、美しい眺望に癒されよう。



SUPやBEACHヨガなど、様々なアクティビティが楽しめます。
2024年3月new open!
詳細は、@wakaura_bay_fit_7(Instagram)から

露天風呂から和歌浦湾を一望

和歌の浦温泉 萬波 MANPA RESORT

●わかのうらおんせん まんぱ まんぱりぞーと

岬の突端に立つ眺望自慢の宿。和歌浦湾を一望できる温泉露天風呂が、地元和歌山でも愛されている。眼下に広がる眺望を楽しみたい。

☎073-444-1161 住和歌山市新和歌浦2-10 交バス停新和歌遊園からすぐ 時イン15時/アウト10時 料1泊2食付き1万6000円~
【MAP】P14A1【URL】http://www.manpa.co.jp/

立寄り入浴
料タオル付き1540円
時11~15時 休不定休



海の幸や熊野牛など和歌山の味覚を



爽快な海景色と夕景をお部屋から望める

Wakanoura Nature Resort EPICHARIS

●わかのうらねいちゃーりぞーとえぴかりす

和歌浦湾の大自然を感じられる全25室オーシャンビューのエーゲ海風リゾートホテル。普段とはまるで違う非日常感が味わえる。

☎073-447-0001 住和歌山市新和歌浦2-4 交バス停新和歌浦より徒歩5分 時イン15時/アウト10時 料1泊2食付き1万1000円~【MAP】P14A1
【URL】https://www.epicharis.jp/





"自然時間を楽しみ、自然とくつろぐ"がコンセプト

紀州温泉 雑賀の湯 双子島荘

●きしゅうおんせん さいかのゆ ふたごじまそう

「日本の夕陽百選」にも選ばれた、雑賀崎の夕景を望むベストポジションを自負する宿。ロビーや客室からも海の絶景を眺められる。

☎073-444-1145 住和歌山市雑賀崎599 交バス停雑賀崎遊園から徒歩11分 時イン15時/アウト10時 料1泊2食付き1万1000円~【MAP】P14A1【URL】
http://www.futagojimasou.com/



和歌浦湾の絶品海の幸でおもてなし

紀州温泉 「天然足赤エビの宿」 国民宿舎 新和歌ロッジ

●きしゅうおんせんてんねんあかあしえびのやど こくみんしゅくしゃ しんわかろっじ

天然足赤エビの絶品塩焼きとサクサク天ぷらが自慢♪活けた新鮮な足赤エビを地元の漁師さんから直接仕入れています。夏はハモ・冬はクエ鍋料理が人気!浜辺まで徒歩1分。天然温泉でおもてなし。海の食堂から絶景の宝庫和歌の浦が一望できる。

☎073-444-9000 住和歌山市新和歌浦2-3 交バス停千鳥磯からすぐ 時イン16時/アウト10時 料1泊2食付き1万200円~【MAP】P14A1【URL】
https://www.shinwakalodge.com/



紀州温泉ありがとうの湯は、雑賀崎の港と海を望む開放的な風呂

紀州温泉 ありがとうの湯 漁火の宿 シーサイド観潮

●きしゅうおんせん ありがとうのゆ いさりびのやど しーさいどかんちょう

2017年に誕生した温泉露天風呂「紀州温泉ありがとうの湯」が好評の宿。雑賀崎の絶景を眺めながら湯に浸かってリラックスできる。

☎073-444-0111 住和歌山市田野82 交バス停観潮遊園前からすぐ 時イン15時/アウト10時 料1泊2食付き1万7000円~【MAP】P14A1【URL】
http://www.kancho.co.jp/

立寄り入浴
料タオル付き1400円
時11~15時 休不定休

紀州和歌の浦 木村屋

●きしゅうわかのうら きむらや

(旅館は現在改修中)
夏季限定オープン!海風を感じるビーチカフェ「バグース」が大人気。住和歌山市新和歌浦2-2 交バス停千鳥磯からすぐ【MAP】P14A1

宿の下にすぐビーチがあり散策にもいい



潮風荘

●しおかぜそう

和歌浦海岸に位置し、全客室やお風呂から絶景を見下ろせる。味と安らぎが自慢の宿。

☎073-444-2848 住和歌山市雑賀崎613-2 交バス停雑賀崎遊園から徒歩11分 時イン15時/アウト10時 料和室 1泊2食付き1万1000円~
【MAP】P14A1【URL】http://www.shiokazesou.com

和歌の浦を望む絶好のロケーション



和歌の浦の奥座敷にたたずむ、料理自慢の宿

紀三井寺温泉 花の湯 ガーデンホテル はやし

●きみいでらおんせん はなのゆ がーでんほてる はやし

境内から和歌の浦を遠望する紀三井寺の参道入口にあり、西国三十三所巡礼にも便利な宿。桜も咲く日本庭園を楽しめる天然温泉の風呂が人気だ。

☎073-444-1004 住和歌山市紀三井寺673 交バス停紀三井寺からすぐ、またはJR紀三井寺駅から徒歩10分 時イン16時/アウト10時 料1泊2食付き1万2250円~【MAP】P14B3【URL】https://www.kimiideragardenhotel.com/

立寄り入浴
料900円(大人)、450円(子ども)、販売タオル150円
時11~22時 休無休

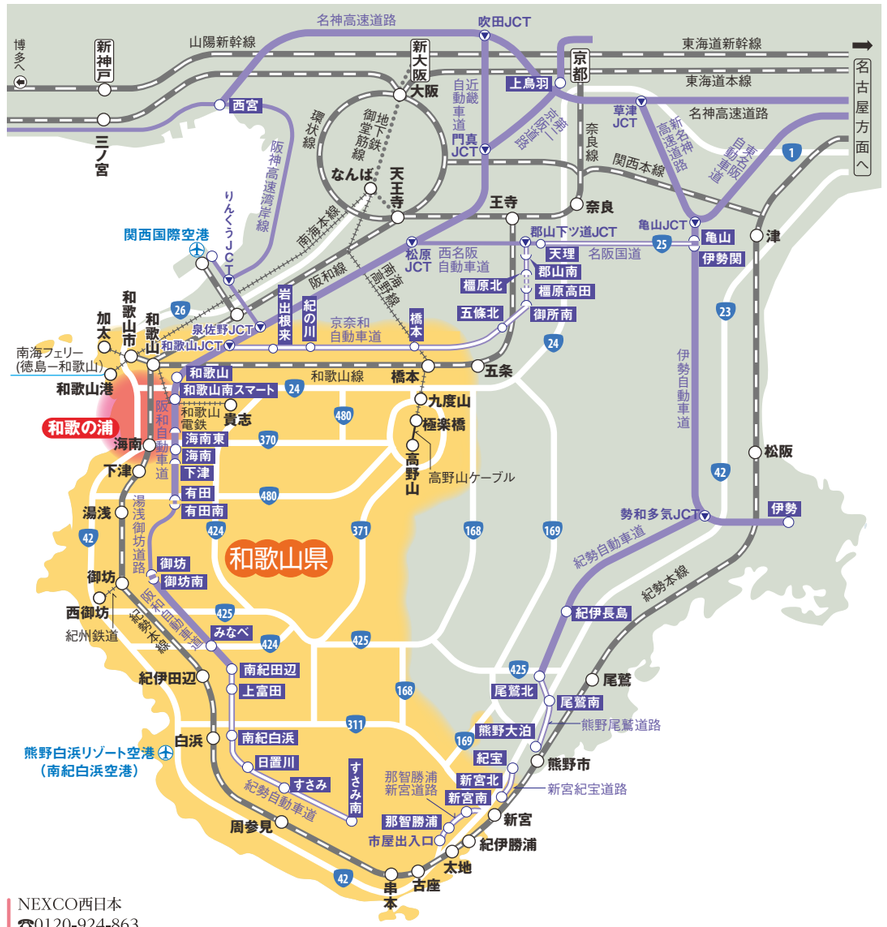
大浴場には庭園風の露天風呂も備えている



その他の宿泊施設については右記までお問い合わせください。●(一社)和歌山市観光協会☎073-433-8118【URL】http://www.wakayamakanko.com/ ●(一社)海南市観光協会☎073-484-3233【URL】http://www.kainankanko.com/

◉和歌の浦へのアクセス

鉄道の場合の起点にはJR和歌山駅での下車が便利。黒江方面にはJR海南駅で下車を。車での移動ならシーサイドビューも楽しめる。



鉄道

●大阪方面から

新大阪駅
↓ JR阪和線 特急約1時間
和歌山駅
↓ JR紀勢本線 特急約10分
海南駅

なんば駅
↓ 南海本線 特急約1時間
和歌山市駅

関西空港
↓ JR関西空港線・阪和線（日根野駅で乗り換え）約45分 あるいはリムジンバス 約40分
和歌山駅

関西空港
↓ 南海空港線・南海本線（泉佐野駅で乗り換え）約40分
和歌山市駅

●奈良方面から

奈良駅
↓ JR大和路線・阪和線 特急約1時間30分
和歌山駅

●和歌山県内主要観光地から

新宮駅
↓ JR紀勢本線 特急約1時間50分
白浜駅
↓ JR紀勢本線 特急約1時間20分
海南駅
↓ JR紀勢本線 特急約10分
和歌山駅

NEXCO西日本
☎0120-924-863
☎06-6876-9031

NEXCO中日本
☎0120-922-229
☎052-223-0333

日本道路交通情報センター
和歌山情報 ☎050-3369-6630
近畿地方高速情報 ☎050-3369-6768

JR西日本
☎0570-00-2486

JR東海
☎050-3772-3910

南海バス
南海高速バスセンター ☎06-6643-1007

和歌山バス
和歌山営業所 ☎073-445-3131

車

●京都方面から

上鳥羽IC
↓ 第二京阪 約33km 約26分
門真JCT
↓ 近畿道 約15km 約12分
松原JCT
↓ 阪和道 約60km 約40分
和歌山IC
↓ 阪和道 約13km 約10分
海南IC
↓ 阪和道 約2km 約5分
下津IC

●奈良方面から

郡山南IC
↓ 京奈和道・国道24号 約76km 約75分
和歌山JCT
↓ 阪和道 約5km 5分
和歌山IC

夜行長距離バス

運行ルート	運行会社	所要時間
東京～和歌山（JR和歌山駅・南海和歌山市駅）	南海バスほか	9時間30分～10時間
海浜幕張・横浜～和歌山	和歌山バスほか	9時間25分～11時間20分

フェリー

航路	運行会社	所要時間
徳島港～和歌山港	南海フェリー	2時間～2時間15分

深堀り!和歌の浦

絶景の宝庫和歌の浦 魅力発見・発信の取組み



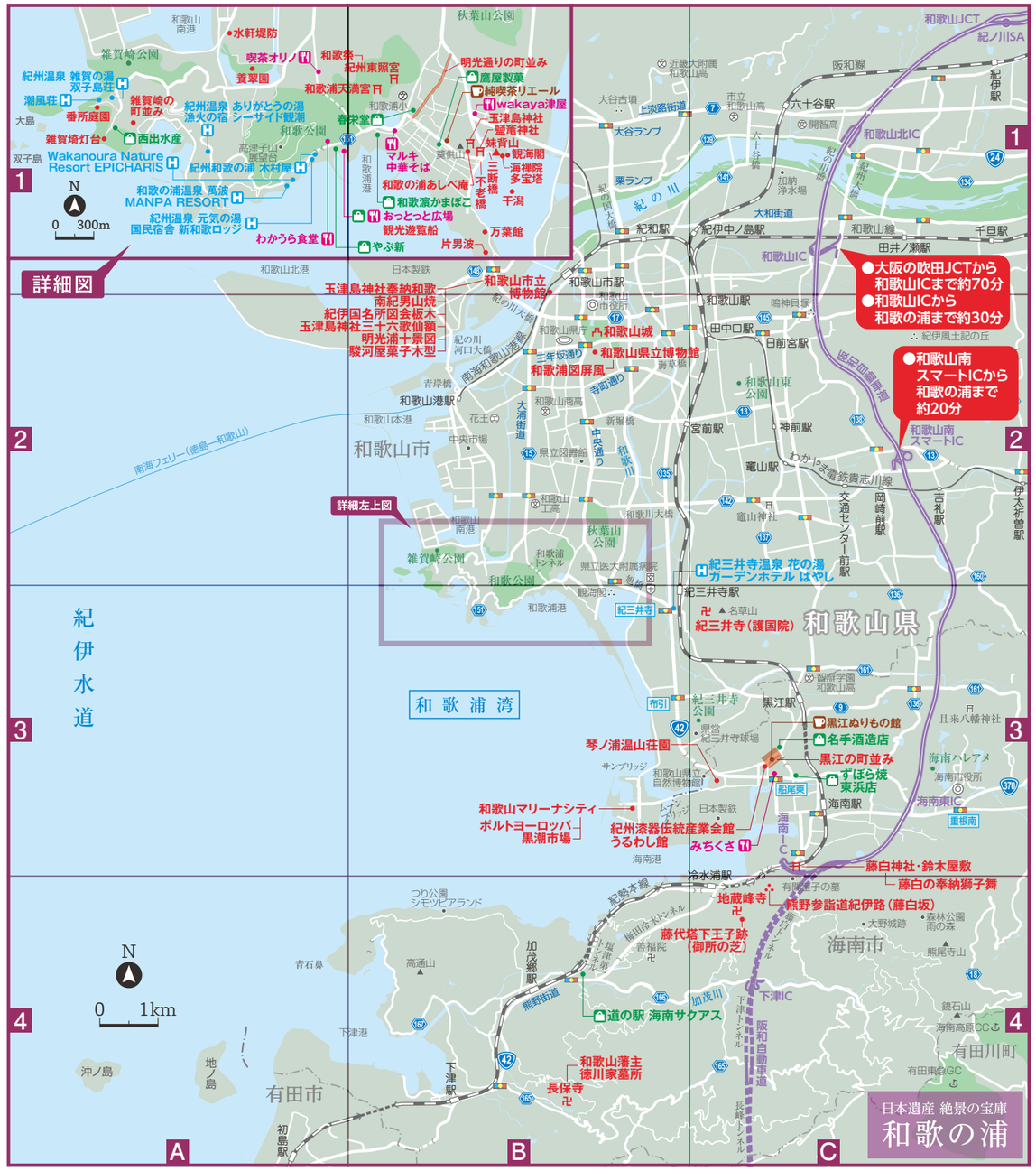


地元の高校生と住民の皆さんが作った「和歌のウラディープMAP」が完成しました!クスッと笑えるウラ話やグルメなど、地元目線の魅力が手描きイラストで楽しく紹介されています。大好評のこの地図作り、来年度以降も別のエリアで継続予定です。次はどんな「ウラ話」が飛び出すか、どうぞお楽しみに!

公式サイト「https://wakanoura-nihonisan.jp/map_tegaki.pdf」か、左のQRコードから、是非ご覧ください。

◉日本遺産 絶景の宝庫 和歌の浦 関連地域マップ

和歌の浦は和歌山市街の南方、和歌浦湾に面した一帯を指す。西は雑賀崎、南は熊野古道の藤白坂まで、歴史に彩られた景勝が広がる。



旅の思い出に買って帰りたい おすすめみやげ

和歌浦の名所を焼き印で入れたせんべいや自慢の海の幸、店先で味わいたいスイーツなど、地元の名産品をおみやげに。

和歌浦せんべい



不老橋や観海閣などの名所を一枚一枚焼印で押した甘い風味のせんべい。パッケージには和歌浦の風景が。

●鷹屋製菓
☎073-448-1617
【MAP】P14B1

絶景を写した風雅なせんべいは箱入り20枚 400円

ずぼら焼



手作りにこだわる海南名物の大判焼。香ばしく焼き上げたアツアツをずぼら焼東浜店で製造販売。店内でも味わえる。

●ずぼら焼東浜店
☎073-482-4124
【MAP】P14C3

黒餡・白餡・カスタード 各1個100円

灰干しさんま



良質の脂ののったサンマだけを、紀州伝統の灰干乾燥製法で旨味たっぷりに仕上げた干物。

●西出水産
☎073-444-7173
【MAP】P14A1